

国際的な

# お約束

温室効果ガス削減目標

2015年7月17日

日本政府は温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比マイナス26%とするという「約束草案」を国連気候変動枠組み条約事務局へ提出しました。この「約束草案」にある原発の扱いは？

## 2015年7月17日 日本の約束草案

参考資料①

エネルギーミックスと整合的なものとなるよう、裏付けのある対策・施策や技術の積み上げによる実現可能な削減目標として、(中略) 2030年度に2013年度比▲26.0%の水準にすることとする。

温室効果ガス削減目標積み上げに用いたエネルギーミックス(2030年)

原子力発電 20%~22%程度

このエネルギーミックスは2015年7月16日に決定した「長期エネルギー需給見通し」の数字です。さて、この約束草案ではパブリックコメントも実施されていました。

## 2015年7月17日 お寄せ頂いた御意見の概要と御意見に対する考え方

参考資料②

原発の比率は政府の公約に反する

今回の削減目標は、**エネルギーミックスと整合的なもの**となるよう検討いたしました。

A

原子力発電の比率については、2014年4月に閣議決定された**エネルギー基本計画を踏まえ**、(中略)**可能な限り低減**させた姿となっております。

原子力発電の安全は確保できない

原子力発電については、いかなる事情よりも**安全性を全てに優先させ**、(中略)原子力規制委員会により**世界で最も厳しい水準の規制基準**に適合すると認められた場合には、その判断を尊重し原発の再稼働を進めることとしております。

汚染水などの事故収束ができていない

福島第一原発の港湾外の放射性物質濃度は、従来から公表しているように、法令で定める「告示濃度限度」に比べて十分に低いままです。したがって、**汚染水の影響は、福島第一原発の港湾内に完全にブロックされており、「状況はコントロールされている」と考えております。**

原子力発電の活用は国民の意思に反する

原子力発電については、2014年4月に閣議決定された**エネルギー基本計画**において(以下略:『重要なベースロード電源』であり『依存度は可能な限り低減』の部分引用)

B



廃炉や放射性廃棄物処理の問題が解決していない

前ページ **B** と同じ。。

核燃料サイクルについては、2014年4月に閣議決定されたエネルギー基本計画に基づき、**推進**しております。

前ページ **A** と同じ。。

様々な要因を考慮すれば、今回、エネルギーミックスでお示しした原発比率は**達成可能**なものと考えております。

40年運転制限令を考慮すると現実的な水準ではない

『様々な要因』とは  
 ・事業者の努力による稼働率の向上  
 ・20年の延長運転

なお、既存の原発の安全確認が進められているところであり、**現段階において、**  
**新增設・リプレースは想定しておりません。**

『原発比率20~22%』についてはこれまでも何度かこのポスターシリーズで紹介しています。

約3,344万kW ← 2030年に原発に必要な設備容量

2030年の『エネルギー需給見通し』で想定する総発電電力量の22%は  
 23,430,000万kWh/年 = 1時間あたり2,675万kW  
 設備利用率を80%と想定すると実際に必要な設備容量は  
 3,344万kW × 80% = 2,675万kW (参考資料③)

2015年時点で存在する原発を  
 運転開始年の古い順に並べた表

設置者	発電所名	号機	出力 (万kW)	運転開始年	40年後
関西	高浜	1	82.6	1974	2014
関西	高浜	2	82.6	1975	2015
関西	美浜	3	82.6	1976	2016
四国	伊方	1	56.6	1977	2017
日本原電	東海第二		110	1978	2018
関西	大飯	1	117.5	1979	2019
関西	大飯	2	117.5	1979	2019
九州	玄海	2	55.9	1981	2021
東京	福島第二	1	110	1982	2022
四国	伊方	2	56.6	1982	2022
東北	女川	1	52.4	1984	2024
東京	福島第二	2	110	1984	2024
九州	川内	1	89	1984	2024
東京	福島第二	3	110	1985	2025
東京	柏崎刈羽	1	110	1985	2025
関西	高浜	3	87	1985	2025
関西	高浜	4	87	1985	2025
九州	川内	2	89	1985	2025
日本原電	敦賀	2	116	1987	2027
東京	福島第二	4	110	1987	2027
中部	浜岡	3	110	1987	2027
北海道	泊	1	57.9	1989	2029
中国	島根	2	82	1989	2029
東京	柏崎刈羽	2	110	1990	2030
東京	柏崎刈羽	5	110	1990	2030
北海道	泊	2	57.9	1991	2031
関西	大飯	3	118	1991	2031
東京	柏崎刈羽	3	110	1993	2033
中部	浜岡	4	113.7	1993	2033
北陸	志賀	1	54	1993	2033
関西	大飯	4	118	1993	2033
東京	柏崎刈羽	4	110	1994	2034
四国	伊方	3	89	1994	2034
九州	玄海	3	118	1994	2034
東北	女川	2	82.5	1995	2035
東京	柏崎刈羽	6	135.6	1996	2036
東京	柏崎刈羽	7	135.6	1997	2037
九州	玄海	4	118	1997	2037
東北	女川	3	82.5	2002	2042
東北	東通	1	110	2005	2045
中部	浜岡	5	138	2005	2045
北陸	志賀	2	120.6	2006	2046
北海道	泊	3	91.2	2009	2049

1,221万kW  
不足

①設備利用率

上の数字は設備利用率80%で計算しています。  
 1991年から2010年まで20年間の平均設備利用率は73.3%  
 この間最高84.2%(1998年)、最低59.7%(2003年) 参考資料⑤  
 これから全ての原発が老朽化する一方であることを考慮すると  
 80%でも相当楽観的な仮定と思われれます。

②20年の延長運転

右の表で黄色い柏崎刈羽2, 5号機が2030年で40年運転です。  
 とりあえず2030年だけを考えると、これより古い炉で不足分  
 を補わねばなりませんので  
 赤枠の14基を20年延長運転して1266.9万kW  
 そして2030年以降毎年のように運転40年を迎える原発を  
 全て20年延長していかねばなりません。

約2,123万kW ← 40年廃炉を守った上で、  
 2030年時点で存在する全原発の設備容量  
 (新增設・リプレースなしの場合)

少しだけ感想を

国連に提出した『裏付けのある対策・施策や技術の積み上げによる実現可能な削減目標CO2の削減目標』の前提は原発依存度20~22%。  
 つまり、これからも日本は原発を続ける、と国際的に約束することになります。

何度でも繰り返しますが、民主党政権時代、我々日本人は国民的議論というのを通じて、『2030年代に原発ゼロ』を選択しています。  
 しかし、安倍政権はあっさりそれを白紙に戻し、2030年に原発依存度を20~22%にする、と国際的な約束にしようとしています。  
 この間、有識者と役人による会議と閣議決定だけで話はどんどん進んでおり、国民の声は国会での議論も含めて一顧だにされていません。(パブリックコメントで国民の声を聞いたというかもしれませんが、今回見たように、ただ寄せられた意見に対して一方的に答えているだけです。これでは声を聞いたことにはなりません。)  
 結局、選挙の結果で国の進む方向を変えさせるしかないんです。

参考資料

- ①外務省HP 日本の約束草案(2030年度温室効果ガス排出削減目標)の提出  
[http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4\\_002311.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_002311.html)
- ②環境省HP 「日本の約束草案」の地球温暖化対策推進本部決定について(お知らせ)  
<https://www.env.go.jp/press/101241.html>
- ③このポスターシリーズ過去分2015年6月12日分  
<http://brownmorning.s3-website-ap-northeast-1.amazonaws.com/html/kanteimaedoc.html>
- ④資源エネルギー庁 原子力政策について「原子力発電所の状況(電気事業用2014年4月1日現在)」  
[http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity\\_and\\_gas/nuclear/001/index.html](http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/nuclear/001/index.html)
- ⑤原子力安全基盤機構 原子力運転管理年報 平成23年度版  
<https://www.nsr.go.jp/archive/jnes/kouhou/unkan/index.html>

(参考資料④の情報を元に作成)